

認知症に関する特集は、ほぼ毎年1回組まれているが、今回の“身体障害を合併した”といった視点は、初めての取り組みになると思われる。本文にも示されていたが、医療等において、それだけ認知症を合併された方にOTがかかわる機会が増えているといえる。また、認知症を有する方への対応への配慮の重要性が、認識されてきた証でもあると考える。

私ごとになるが、認知症の方への支援にかかわるようになって10年が経過する。前職でも高齢者の方を対象としたかわりを行っていたが、そのときには、認知症の方に対する具体的な支援を実践しているとはいえなかった。当時は、認知症の原疾患ごとの状態や、認知症を有するご本人の気持ちが十分に理解されておらず（私自身が理解していなかった……）、周囲からみた困った状態への対応しかできていなかったと感じる。

直接的支援に従事して10年が経った今でも、認知症の方がこちらの意図した内容と異なる反応を示されると、何とかその場を取り繕おうとしている自分が見える。

そのとき、私の心の中で、「私の対応は、詭弁だ!」という声が響く。それは、協会長対談で中村先生が「若いころ、一生懸命しゃべらなければと思われた経験」にも通じていると感じた。皆、同じ経験をしているのだと安心する反面、本特集から「よい対応をしなければ」と思う自分都合の考えは、相手の状態に応じていないことを理解した。釈氏の「自分を括弧に入れる」という考えは、今回の特集で述べられた認知症の方に対するOTのあり方につながる。認知症を有する対象者への支援には、私たちのもつ知識だけでは不十分なこと、人それぞれに感じ方や考え方は異なることを認識し、かかわることが重要であることを再認識した。そして、その考え方は、「リカバリーショット」の佐々木さん、「患者と治療者との間を生きる」の川上さんからの声にも通じている。そんなつながりを感じる2017年2月号になったと思う。

(竹内さをり)

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子 道下 忠蔵
矢谷 令子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 宮崎 明美 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	浅野 有子	蟻塚 亮二	石川 隆志
伊藤 利之	伊藤 真美	岩井 和子	岩井 邦寿
宇田 薫	沖田 啓子	片岡 靖子	辛島千恵子
荻山 和生	川本愛一郎	河本 玲子	来島 修志
岸本 光夫	木村伊津子	窪田 静	相良 二郎
佐藤 久夫	柴田八衣子	島崎 寛将	高砂 裕子
高島 千敬	鶴見 隆彦	土井 勝幸	中川 昭夫
仲木 右京	西出 康晴	芳賀 信彦	浜村 明德
林 克樹	東 祐二	備酒 伸彦	深浦 順一
二神 雅一	松本 琢磨	松元 義彦	宮田 昌司
村井 千賀	村上 重紀	森本 誠司	柳 尚夫
山口 昇	山根 寛	吉川ひろみ	米崎 二郎
渡辺 誠	(五十音順)		

作業療法ジャーナル VOL.51 NO.2 (Feb.)

2017年2月15日発行（毎月1回15日発行）

定価（本体1,750円＋税）

年ぎめ予約購読料 24,800円＋税（送料弊社負担、増刊号含む）

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

（担当：高野、森山）

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎ 03-3814-1971

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2017, Printed in Japan

JCOPY 〈(株)出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。